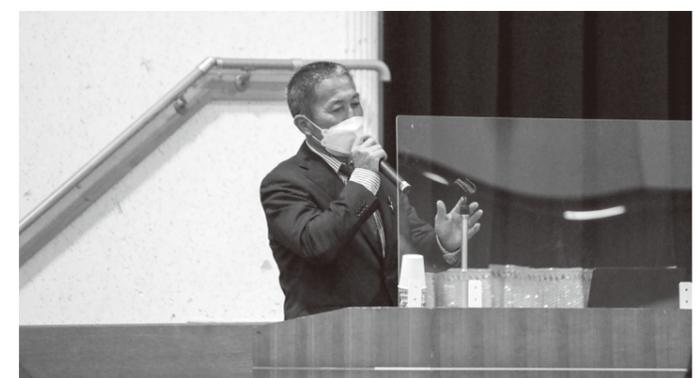


11.17 木
子どもたちの自主性を育む
青少年育成会議講演会

赤名農村環境改善センターで、青少年の健全な育成を進める活動の一環として、講演会が開催されました。夏の甲子園予選で快進撃をみせた、飯南高校野球部の来田良博監督が「子どもをやる気にさせる大人の関わり方」と題して講演し、子どもの自主性を育むために、心掛けていくことなどを話されました。夏の甲子園予選での話などもあり、会場では大きな拍手が起きていました。



生徒の自主性を伸ばすには、信頼関係を築くことが重要と来田監督



保護者、高校生など約120人が来場



野球部の選手が話す場面も

11.27 日
日頃の練習の成果を発揮
スポーツ少年団剣道交歓会

スポーツを通して団員相互の交流とコミュニケーションを図ることを目的に、「第52回島根県スポーツ少年団剣道交歓会」が頓原小学校体育館で開催されました。本町からは琴引剣道スポーツ少年団が出席。同少年団の宮本琴音さんの選手宣誓の後、4チームの選手が熱戦を繰り広げました。監督の日野さんは「試合ができていい経験になった。今後も剣道を盛り上げて、剣道人口の増加を図りたい」と話していました。



選手の気合の入った声が体育館に響きます

11.27 日
よりよい地域にするために
「小さな拠点づくり研修会」

野営自治区振興会主催の、地域づくり研修会が開催されました。研修会は毎年開催されており、今回のテーマは「小さな拠点づくり」。島根県中山間地域・離島振興課の高橋暢茂主任を講師に招き、県内外の事例などを学びました。高橋主任は、前職の経験を踏まえ、地域外からの来訪者との交流が、地域に変化をもたらすと話されました。参加者はメモを取りながら、話に耳を傾けていました。



映像などを見ながら他地域の事例を学びました

11.18 金
安全・安心な米づくり
エコロジー米生産者大会

エコロジー米の生産拡大を目的に「第13回飯南町エコロジー米生産者大会」が来島交流センターで開催され、「第15回うまい米コンテスト」の表彰式が行われました。受賞者は次の皆さんです。(敬称略)
●一般部門金賞受賞者(敬称略)
・農事組合法人 アグリ・ドリーム小田(小田・森口繁之(上赤名))
●グランドマスター部門金賞
・農事組合法人 長谷営農組合(長谷)
※グランドマスター…一般部門で通算3回金賞を受賞した生産者



受賞された生産者の皆さん

11.26 土
積雪の時期に備えて
「スノーレンジャー谷」発足

谷地区では、平成21年に住民有志で除雪ボランティア団体「スノーレンジャー」を結成。地域住民のために活動を続けています。この度、除雪活動の拡充のため、島根県社会福祉協議会の「地域共生社会創造助成金」採択を受け、「スノーレンジャー谷」として組織を再編しました。この度の再編でメンバーが若返り、設備も充実。除雪困難世帯の増加に対応した活動が可能になりました。冬にも安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。



声掛けによる安否確認など、行政や福祉団体との連携も進めます

11.30 水
地道な活動を継続して
飯南高野球部に「小さな親切」実行章

飯南高等学校の野球部が、(公社)「小さな親切」運動本部から「小さな親切」実行章を受章しました。野球部の部員は、通学路や高校周辺のゴミ拾い、積雪時の雪かきを実施。昨年の豪雨災害時には、災害復旧ボランティアとして、泥の運搬や瓦礫の撤去を行いました。原主将は「野球のためにも地域のためにも、このような活動を続けていきたい」と話していました。



地域への恩返しとして、自発的に始めた活動が評価

12.4 日
新年を迎えるための冬支度
しめ縄づくり教室

赤名農村環境改善センターで、毎年恒例の「しめ縄づくり教室」が開催されました。当日は、親子連れや赤名地区の住民など13人が参加。講師の藤原恒夫さんから作り方を教わり、玄関や自動車、神棚などに飾るしめ縄を作りました。毎年参加されている人は、技術も高く、熟練の手つきで大型のしめ縄を作っていました。この企画は、赤名公民館が新年を前に毎年12月に開催しています。



いい新年を迎えるため、集中して作ります